

NPO 京都コミュニティ放送 第 131 回 番組審議会 議事録

開催日時：2019年5月24日（月）10：30～11：45

会場：イヌイ四条ビル3階「flag 四条」

出席委員：岡本卓也 隅井美沙子 福井秀彦 岡田芳宏 安長幸音

欠席委員：竹下清 中村正 ジェフ・バーグランド

局側委員：松岡千鶴 藤本香

■審議番組 「拝啓おじいちゃんおばあちゃん」 番組オーナー／早川岳人さん
制作／佐々木佳孝さん、古川英美さん
(毎週土曜日 午前8時から放送の6分番組)

■番組審議

冒頭、番組オーナー早川岳人さんから番組趣旨の説明があった。

父親である堀川病院医師 早川一光さんが KBS 京都で 30 年以上「早川一光の万歳人間」という番組を放送。その中に「おじいちゃんおばあちゃん観察日記」というコーナーがあった。子どもがおじいちゃんおばあちゃんを見る目を養い地域高齢者の活性化にも寄与していた。昨年3月早川医師が亡くなった為、遺志を引き継ぐという思いで、同年7月からラジオカフェで番組をスタートした。近隣の小学校の児童が作文を朗読、地域の高齢者にコメントをもらい相互交流を図ることが趣旨の番組。

制作の佐々木さんからは、子どもの視点がバラエティに富んでいるという報告があった。古川さんは作文を選ぶのは先生だが、日常を素直に書いて下さいとお願いしているとのこと。

2018年9月29日、11月24日の放送を聞いて審議に入った。

- ・内容は完璧だが、フリートークが中にあると内容が膨らむ。
- ・バイクの話が心温まる。おじいちゃんがバイクの免許を返上した話はタイムリーで良い。
- ・KBS 京都からコミュニティ放送のラジオカフェに引き継がれたのは良い事。作文は綺麗事ではなく自然体である方が良い。ありのままを伝える事がメディアの役割だと再認識した。
- ・子どもの声がラジオの番組から聞こえるだけでも、華やかな楽しい気持ちになる。
- ・シニアコメンテーターの選び方は？
- ・小学校の近隣に住むシニアだが皆さん意識が高い。子どもは20年前は関西弁だったが、近年は指導があるのか標準語に近い。コメンテーターは京都弁が良いなと思う。(古川)
- ・学校での収録時はこちら側から指導はしていない。(佐々木)
- ・子ども自身のおじいちゃんおばあちゃんに登場してもらおう方法もある。世の中良い話ばかりではないので、弱い部分も引き出したいと思う。(早川)
- ・大人が啓発される番組。子どもを大切にしなければと思う。
- ・振り返ると家庭内の問題は出てこない。問題を掘り起こす内容であっても良い。(佐々木)
- ・番組が2年目に入るので、皆さんの意見を内容に生かしていけたらと思う。(古川)

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は2019年5月31日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2019年5月31日からホームページで公開した。